

教育研究支援

附属図書館に24時間学習室を開設。子育て支援や教育支援プログラムの活用。

教育・研究活動を支える図書館機構

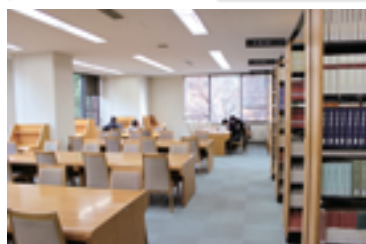
京都大学には附属図書館をはじめとして各部局等にも図書館・図書室があり、合わせて約670万冊の蔵書を誇ります。それぞれの図書館・図書室が分野に合わせた図書や雑誌を収集・整理し、貸出や文献調査などのサービスを提供するほか、学習に快適な環境を備えています。

また、現代の学術研究には欠かすことのできない電子ジャーナル

や様々な分野のデータベースを揃え、大学内のどこからでもアクセスできるようになっており、各図書館・図書室や研究室の端末からもこれら最新ツールが利用できます。

附属図書館では各種データベースの使い方や論文・レポートの書き方など、学習・研究に必要な不可欠な学術情報リテラシーを高めるための講習会などを行っています。

附属図書館



附属図書館は1899(明治32)年に創立され、約89万冊の図書をはじめとして、多くの学術雑誌やデータベースを備え、京都大学の学生や研究者の学習・研究活動を支えています。

ています。

地下3階地上4階建ての建物には、1,305席の快適な閲覧席、情報端末群や豊富なCDやDVDを備えたメディア・コモンズなどを設置しており、一日平均約3,200人が訪れています。また、インターネットで貴重資料画像や学術情報リポジトリや蔵書検索システムKULINEを広く社会に公開し、学術情報の発信にも力を入れています。

利用時間は平日8時～22時で、土、日曜日も開館しています。以前から長時間利用したいという希望が多く寄せられたため、2009年1月から、学生や教員など学内向けに24時間利用可能な「学習室24」を設置しました。また、情報端末エリア(パソコン106台)や研究個室(14室)・共同研究室(5室)も設けており、様々な目的に応じて図書館を利用することができます。



大学院教育における4大学間(京都大学、東京大学、慶応大学、早稲田大学)の学生交流に関する協定

学問の発展やグローバル化の進展に伴い、1大学ではすべての学問分野を完全にカバーすることは困難になっています。大学院生が教育を受けることについても自大学内だけに留まらず、他の大学に興味のある分野があればそこで教育の一部を受けられるようにすることで、こうした困難を克服することが可能となります。大学院生に多様な教育・研究指導を受ける機会を提供し、もって学術の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的として、4大学は大学

院教育における大学間学生交流協定を締結しています。

この協定では、受け入れた学生を研究指導した教員は、当該学生の所属大学大学院研究科の承諾のもと、博士学位論文審査に加わることも可能とするなど、大学院教育における交流をより一層推進しています。

なお、派遣先の大学の授業料等は不要とすることにしています。

研究科横断型教育プログラム



学術研究は、近年高度専門化するだけでなく、ますます複雑化、学際化しつつあり、旧来の専門領域の区分に収まらない総合的なアプローチを必要とする課題も急増しています。このような状況の中で、大学院生が広い視野を持ち、新しい学問領域を創造できるよう能力を備えるためには、各研究科が実施している専門教育に加えて、研究科を横断して実施する教育プログラムが必要と考えられます。この必要性に鑑み、本学では平成21年度から、幅広い専門知の涵養と国際的な視野の形成、世界的リーダーの養成を目指し、世界最高水準の研究をおこなう教員、研究者が、大学院生のための文理横断的、分野横断的な教育プログラムを提供しています。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/cross/>

女性研究者支援センター

優れた女性研究者の育成をめざして女性研究者支援センターは、女性のみならず男性をも対象とした育児・介護の支援業務を担い、種々の調査を行うことにより、就学就労のより良い環境をつくるための支援を行います。

保育園入園待機乳児のための保育室

女子学生、女性研究者の勉学・研究・教育と育児の両立を支援することを目的とし、女性研究者支援センター内に、毎年度後半より保育室を開室しています。この保育室は、年度途中の出産や転勤の場合、子どもを保育園に入園させることが難しいことが多いので、そのような人たちが支障なく勉学・研究・教育を続けることができるように設置されました。

病児保育室

京都大学に所属する教職員及び学生を対象に、子どもが病中・病後のため保育園や学校へ登園・登校できない時、親が仕事や研究を休むことなく、子どもの保育ができる環境を提供する施設です。病児保育室は附属病院の中にあり、感染隔離室も設置しています。小児科医、看護師、保育士が常駐する安心できる環境で病児の保育を行います。



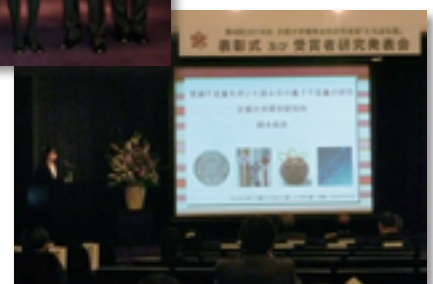
<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学優秀女性研究者賞（たちばな賞）

本制度は、人文・社会科学又は自然科学の分野において、優れた研究成果を挙げた若手の女性研究者を顕彰することにより、当該若手女性研究者自身及びこれに続く多くの若手女性研究者の励みとし、ステップアップに繋がるよう研究意欲を高め、もって本学、さらには我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成等に資

することを目的として創設されました。

平成20年度から、学生部門と研究者部門において、それぞれ1名を顕彰しています。



経済生活支援

授業料免除では出願した大学院生の 90%以上が免除許可を受けています。

本学では既存の入学料・授業料免除制度に加えて、大学独自の授業料免除枠を設けるとともに、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）制度の充実を図る等、様々な支援策を工夫しています。

授業料・入学料免除等

I. 入学料免除・徴収猶予

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合及び入学前 1 年以内において、出願者の学費を主として負担する方（以下「学費負担者」という。）が死亡し、又は出願者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、選考の上、入学料の半額免除及び徴収猶予を受けることができます。

平成 25 年度入学料免除状況

□修士課程

	出願者	半額免除者数	許可率
4 月入学	460	213	46%
10 月入学	15	2	13%

□博士課程

	出願者	半額免除者数	許可率
4 月入学	60	41	68%
10 月入学	15	3	20%

II. 授業料免除

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合及び授業料の納付期限前 6 月以内（入学した日の属する期分の授業料免除の場合は、入学前 1 年以内）において、学費負

担者が死亡し、又は出願者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合は、選考の上、授業料の全額又は半額免除を受けることができます。

平成 25 年度授業料免除状況

□修士課程

	出願者	全額免除者数	半額免除者数	許可率
前期	1263	550	602	91%
後期	1209	574	564	94%

□博士課程

	出願者	全額免除者数	半額免除者数	許可率
前期	1052	549	476	98%
後期	991	551	424	98%

平成 25 年度入学時に要する納付金

入学料	授業料
282,000 円	(半期) 267,900 円 (年額) 535,800 円
	※法科大学院は(年額) 804,000 円

奨学金制度

学業成績が優れかつ経済的な理由により就学が困難である場合に奨学金を申請することができます。

III -1. 日本学生支援機構奨学金

無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金があります。

貸与月額等は次のとおりです。

奨学金貸与金額

課程	種別	貸与月額
修士課程 専門職学位課程	第一種奨学金	5・8.8 万円から選択
	第二種奨学金	5・8・10・13・15 万円から選択
博士後期課程 4 年制博士課程	第一種奨学金	8・12.2 万円から選択
	第二種奨学金	5・8・10・13・15 万円から選択

※法科大学院の第二種奨学金に限り、さらに 19・22 万円から選択できます。

※大学院第一種学生で、在学中に特に優れた業績を挙げた者として認定された場合は、奨学金返還の全額又は一部が免除される制度があります。

III -2. 地方公共団体奨学金及び民間団体奨学金

日本学生支援機構奨学金以外に地方公共団体奨学金及び財団法人等の出資による民間団体奨学金などの奨学金制度があります。募集の条件は団体により異なりますが、募集時期はほとんどが 4 月～5 月に集中しています。

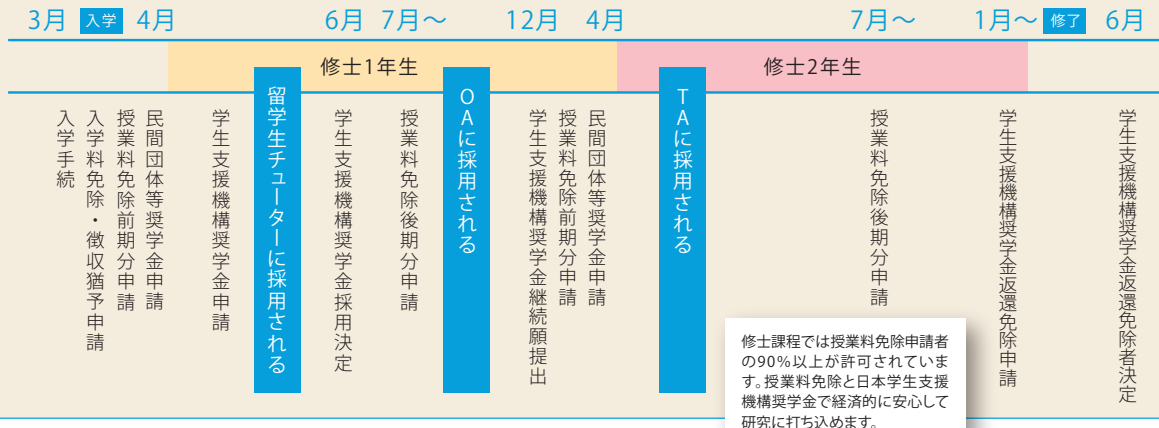
なお本学では、主として学務部で取り扱っていますが、それらのうち大学推薦によるものは事前に一括して申込を受け付けます。詳細は本学ホームページを参照してください。

TA・RA 関係

教育・研究補助業務を行った大学院生（ティーチングアシスタント（TA）及びリサーチアシスタント（RA））への支給総額は 8 億円を超えています。（平成 24 年度実績）

また、オープンキャンパスや進学ガイダンスの開催に係る業務補助等（オフィスアシスタント（OA））に対し、本学在学学生を採用し、謝金を支払っています。

修士学生の年間スケジュール(一例)

京都大学
学生生活
白書 (平成23年度より)

□平均収支金額

1か月の平均収入金額

(単位:千円)

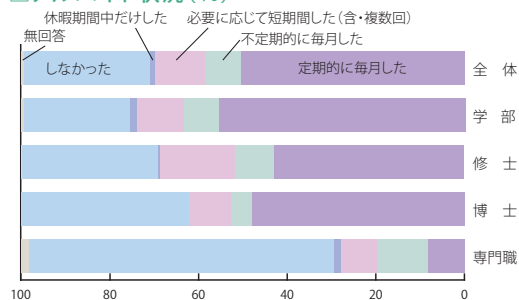
	家族から (除・授業料等の大学納付金分)	奨学金・研究奨励金	アルバイト	その他	収入合計
全 体	56.05	32.49	34.4	3.73	126.66
学 部	60.96	17.72	27.57	0.96	107.21
修 士	60	37.84	18.2	3.53	119.56
博 士	26.54	90.18	97.85	9.32	223.88
専門職	56.5	51.59	6.31	40.52	154.93

1か月の平均支出金額

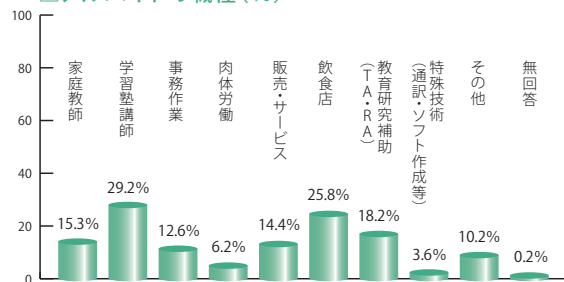
(単位:千円)

	食 費 (含・自宅通学者の外食費等)	住居費 (家賃・水道光熱費・電気代・ガス代)	衣服・嗜好品・ 日用雑貨	勉学費 (教材・参考書・文具・交通費)	課外活動・ 教養娯楽費	情報・通信費	医療費 (含・健康保険の増分)	その他	剰余金・預貯金	支出合計
全 体	28.09	41.63	11.93	9.66	8.86	4.16	1.96	2.25	18.13	126.66
学 部	24.33	37.26	10.86	7.23	8.83	3.17	0.83	0.66	14.04	107.21
修 士	29.03	44.61	11.05	8.39	6.68	4.59	1.04	1.58	12.59	119.56
博 士	43.28	56.57	18.13	20.92	12.77	7.96	7.49	9.38	47.38	223.88
専門職	33.65	46.86	13.31	20.24	7.04	5.2	7.66	9.03	11.94	154.93

□アルバイト状況(%)



□アルバイトの職種(%)



保険制度

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、教育研究活動中等における不慮の災害事故に対する補償として、原則入学時に「学生教育研究災害傷害保険」・「学研災付帯賠償責任保険」に全員加入することとなっております。

前者は、教育研究活動中等(正課中や学校行事中、通学中、課外活動中等)に被った災害に対し必要な給付を行う傷害保険であり、後者は、インターンシップや教育実習、ボランティア活動等におい

て、相手方にケガをさせたり、物を壊したりした時の損害賠償について給付を行う賠償責任保険です。

上記保険内容の詳細につきましては、学務部学生課厚生掛へお問い合わせください。

(問い合わせ先 学務部学生課厚生掛 Tel 075-753-2539)

経済生活支援

福利厚生

京大大学生協同組合

学内の各キャンパスには、京大大学生協同組合が運営するカフェレストラン、食堂、ショップなどがあり、京都大学での教育・研究生活を幅広くサポートしています。生協食堂では安全で安心な食材を使用し、栄養バランスのとれた豊富なメニューで、朝食から夕食時間帯までの食生活のサポートを行うとともに、ショップでは専門書、雑誌から文具類、パソコンまで、大学での研究に必要とされる商品を取り揃え、サービスを提供しています。

特に書籍・雑誌、CD/DVDは生協組合員の特典として定価の10%引で提供するとともに、食堂の利用や、食品・飲料の購入に応じたポイントサービスによる利用還元を行っています。

なお、利用時には生協への加入を行ってください。

加入出資金	20,000円(50口) 脱退時に返還されます
-------	-------------------------

ショップ内組合員センターカウンターで受付けています。
加入すると大学ICカード(学生証)を使用して、
電子マネー・ポイント機能を付加することができます。

また、学生生活で万一の事故・病気に備えた「学生総合共済」制度があります。学生総合共済は、事故や病気が24時間保障されること、また、一部の例外を除いてあらゆる事故や病気も保障されることなど、学生生活にフィットした保障内容となっています。詳細はホームページ(S-COOP) <http://www.s-coop.net/> を参照してください。



■各施設の営業時間(2013年4月現在)

吉田キャンパス

店舗名	主な営業内容	営業時間
時計台生協ショップ	文具、食品、日用品、映画等のチケット 京大オリジナルグッズの販売	10:00～20:00(平日) 11:00～15:00(土曜)
時計台旅行センター	国内・海外旅行、JRチケット、航空券 レンタカー、教習所、引越手配等	10:00～19:00(平日)
※ショップルネ	生協共済加入、給付申請、 書籍、パソコン、ソフトウェア、 住まい紹介、家具、家電、教習所、 レンタカー、クリーニング、スーツ等	10:00～19:00(平日) 11:00～15:00(土曜)
中央食堂	朝・昼・夕食等の提供	8:00～21:00(平日)
カンフォアラ	昼・夕食等の提供 昼食時間帯の弁当販売	11:00～21:30(平日) 11:00～15:00(土日祝日)
カフェテリアルネ	昼食・夕食、ハラルル食、 デザート等の提供	11:00～22:00(平日) 11:00～19:30(土曜) 11:00～14:00(日曜)

これら以外にも吉田南、北部、南部構内にそれぞれ食堂とショップがあります。
※住まい紹介は、平日11:00～17:00(土日祝日)、クリーニングは、平日11:00～18:00(土日祝日)です。

宇治キャンパス

店舗名	主な営業内容	営業時間
宇治購買	文具、食品、日用品、パソコン、 雑誌の販売	10:30～18:00(平日)
宇治食堂	昼・夕食の提供	11:30～14:30(平日) 17:30～20:00(土曜) 11:30～14:00(日曜)

これら以外にも「宇治おはくプラザ」にレストランやコンビニがあります。

桂キャンパス

店舗名	主な営業内容	営業時間
生協ショップ (Bクラスター)	文具、食品、日用品、パソコン、 雑誌の販売	10:00～18:00(平日) 10:00～14:00(土曜)
クラスターAショップ	食品、日用品の販売	10:00～20:00(平日)
カフェテリアセレネ	朝・昼・夕食、ドリンクの提供	11:00～21:00(平日) 11:00～14:00(土曜)

これら以外にもカフェ、カフェレストラン(土日祝対応)やベーカーリーショップ(土日祝対応)があります。
大学の長期休暇中は短縮営業となります。詳しくは京大大学生協機関誌「らいふすてーじ」や店頭ポスター等でお知らせします。

学生総合支援センター

カウンセリングルーム

京都大学には、学生生活を送る上で出会う様々な悩みや問題を相談できる学内相談機関として、学生総合支援センターカウンセリングルームが設置されています。研究室での人間関係の悩み、研究上のあせりやストレスの悩み、進路の悩み、恋愛にまつわる悩み、家族にまつわる悩み、ハラスメントに関する悩みなど、大学院生として学生生活を送る中でさまざまな悩みに出会うことがあるでしょう。中には自分だけでは抱えきれないような問題もあるかもしれません。友人や家族にさえ話にくいと思う内容の場合もあるでしょう。カウンセリングルームでは、心理学(臨床心理学・相談心理学・青年心理学など)を専門とするスタッフが個別に面接し、相談に応じています。
(カウンセリングルームの詳細については、ホームページをご覧ください。)

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/counseling/>

キャリアサポートルームは26ページに掲載

障害学生支援ルーム

京都大学では、障害や慢性的な疾病などによる修学上の様々な相談に応じるため、学生総合支援センター障害学生支援ルームを設置しています。支援の内容としては、授業を受ける上で必要となる支援(情報保障)や支援物品の貸し出し、施設・設備の整備などです。

また、支援ルーム内の交流スペースは学生に開放しており、開室時間内で利用することができます。

(月～金曜日※祝日除く 9:00～17:00)



フリーアクセスマップ

京都大学フリーアクセスマップは、主に車椅子利用者などの移動困難者の目線で作成した新しい形のバリアフリーマップです。ご利用の方は障害学生支援ルームまでご連絡ください。

在学生の
学び方
student
01

法学研究科 法政理論専攻 博士後期課程 2 年

山田 麻未さん

私は、法科大学院を卒業後、博士後期課程に進学し、租税法を勉強しています。

院生の生活は、指導教授の下でのスクーリングと研究が中心です。その他、学部授業やゼミに参加することもあります。また、京都大学やその周辺にある大学では学会や研究会が多数開催されているので、興味のある研究会には積極的に参加するようにしています。

京都大学は、学生の自主性が尊重されており、とても自由だと思います。図書館の蔵書やデータベース等設備は充実しており、また、いつでも共同研究室を使用できるので、自分のペースで思う存分研究をすることができます。

他の専門研究分野の方との交流も盛んです。例えば、研究会の報告内容が租税法に関するものであっても、研究会には、租税法だけでなく、憲法や行政法等を研究されている先生や学生が参加し、様々な観点から議論を行います。また、自分の専門研究分野とは異なる分野の学生に質問し、議論することもあります。このような交流によって、新たな視点や発想を得ることができると思います。

素晴らしい先生や優秀な学生に囲まれた環境はとても刺激的で、高いモチベーションを維持することができます。これからも、このような恵まれた環境の中、研究に励みたいと思います。



在学生の
学び方
student
02

エネルギー科学研究科 エネルギー変換科学専攻
修士課程 1 年

近藤 祐太さん

大学院では、計画的に研究を進めていくことが求められます。研究のテーマなど、研究の方向性は教授と相談して決めますが、実際に研究を進めていくのは自分自身なので、自分のスケジュールに合うように計画を立てて進めていきます。

大学院の生活は、研究が主体となっています。そのため、授業は週に数コマと学部のときと比べて少ないです。この授業に関しても非常に専門的なことが学べ、自分が必要だと思う授業を主にとることができます。研究については、授業の入っていない空いている時間を使って実験などを行い、進展があったときや、何か問題が発生したときには教授と相談するという感じです。

研究室では、研究会、勉強会などで専門知識が得られるとともに、発表などを通して、物事を他人にわかりやすく伝える能力が養われると思います。また、似たテーマを研究している同じ研究室の学生と話をしたり、学会等で大学の外部の方とも接することはとてもいい刺激となりますし、自分の考えを深めることもできます。

大学院では研究をしやすい環境が整っていますので、興味のある分野を深く研究したいという方にとっては、とてもよいところだと思います。

国際交流支援

国際交流への取り組み

世界規模での国際的な学術交流や学生交流等のグローバル化が加速度的に進行している状況にあつて、本学では「京都大学の基本理念」に基づき、また、日本政府の「留学生 30 万人計画」の方針も踏まえ、世界に開かれた大学を目指し、国際交流のさらなる深化を図るべく実践しています。その実現の施策の一つの柱として、本学学生の国際性の涵養、海外留学及び国際シンポジウム等への積極的参加を様々な形で支援し、海外からは優秀な留学生及び研究者を受入れ、相互交流・支援を行っています。

海外留学支援

派遣留学(交換留学)制度

本学の国際交流を促進するために、海外の大学と締結している学生交流協定に基づいて、互いに学生を留学させあうシステムのことです。京都大学に在籍しつつ、1年以内の1学期又は複数学期のあいだ、学位取得を目的としない留学をし、協定校での教育を受けて単位修得し、又は研究指導を受けるものです。この制度では、留学中も京都大学の授業料を納める必要がありますが、派遣先での授業料は免除されます。留学先での在学期間も京都大学における修業年限に通算されるので、所定修業年限内で卒業・修了できる場合もあります。また、協定校で修得した単位が京都大学での修得単位と認められる単位認定制度もあります。

学生交流協定には、大学同士で締結される大学間学生交流協定のほか、部局同士で締結される部局間学生交流協定があります。



『海外留学の手引き』

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/issue/ryugaku_tebiki/

派遣留学(交換留学)するための奨学金

大学間学生交流協定校への派遣留学生を対象とした奨学金として、次の奨学金・助成金制度があります。

- ①独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)の
海外留学支援制度(短期派遣)
奨学金 月額 60,000 円～ 100,000 円(派遣先による)
- ②京都大学教育研究振興財団からの助成を受けて、
京都大学が実施する京都大学「留学派遣」
渡航費の一部助成
上記以外にも JASSO が毎年発行する「海外留学奨学金パンフレット」に様々な奨学金が紹介されています。

また、京都大学のホームページでも大学に情報が届く日本人等の学生向け奨学金を掲載しています。

留学部門担当教員による個別相談

国際交流推進機構では「留学のススメ」をひとつのきっかけとして、更に具体的な留学先大学や手段に関する疑問等にきめ細やかなアドバイスをし、海外留学の実現に向けたステップアップのためのサポートを行っています。

世界へ羽ばたく「ジョン万プログラム」学生派遣事業

京都大学の国際化に資する目標の一環として、大学が主体となって次世代のグローバル人材を積極的に養成する全学的プログラム「ジョン万プログラム」を展開しています。

学生派遣に関しては、2013 年度より始動し、主に大学院生を海外の世界トップ大学に派遣することにより、グローバルに活躍することができる若手リーダーの育成を目指しています。これらの学生派遣プログラムにかかる授業料・渡航費・滞在費については、派遣プログラムの区分内容に応じて大学から奨学金支援を行っています。

大学院学生の派遣には、数か月間の「短期研究型」および1年間の「学位取得型」のプログラムがあり、2013 年度は英国のケンブリッジ大学とオックスフォード大学へ大学院生を派遣するとともに、米国への派遣も始動し、今後さらに世界トップ大学へ規模を拡大し、より多くの大学院生にグローバル派遣への機会を提供する予定です。



「留学のススメ」の開催

海外留学に関心をもつ本学学生を対象に、4月の新入生説明会、5～7月の International Week(交換留学、大学院留学等)、アジア留学及び海外渡航安全説明会、また協定校紹介など、年間を通して、より具体的なイメージや計画を持てる機会として留学説明会「留学のススメ」を開催しています。



留学のススメ「大学院留学」講演の様子

長期海外留学支援の実施(日本学生支援機構への申請)

独立行政法人日本学生支援機構の「海外留学支援制度(長期派遣)」に申請を行い、海外留学に必要な授業料や奨学金を確保することによって、本学の学生の外国の大学院での学位取得の一層の推進を目指しています。

これにより、国際社会への貢献等に資する人材の養成及び大学の国際競争力の強化等の一層の促進が期待されます。

授業料等を不徴収とする 大学間学生交流協定校一覧

() 内数字は本学から1年間に派遣可能な学生数(平成26年1月1日現在)

欧州 (NIS 諸国を含む)

- 英国
United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
シェフィールド大学(2)
バーミンガム大学(2)
ニューキャッスル大学(2)
エジンバラ大学(2)
マンチェスター大学(3)
ブリストル大学(2)
サウサンプトン大学(2)
- オーストリア共和国
Republic of Austria
ウィーン大学(2)
- オランダ王国
Kingdom of the Netherlands
ライデン大学(2)
ユトレヒト大学(3)
- スイス連邦
Swiss Confederation
ローザンヌ大学(2)
- スウェーデン王国
Kingdom of Sweden
ウプサラ大学(2)
ストックホルム大学(2)
ストックホルム王立工科大学(2)
- ドイツ連邦共和国
Federal Republic of Germany
ベルリン自由大学(2)
ミュンヘン大学(2)
ボン大学(3)
ハイデルベルク大学(5)
フンボルト大学(2)
ミュンヘン工科大学(3)
ゲッティンゲン大学(2)
カールスルーエ工科大学(3)
- フィンランド共和国
Republic of Finland
ヘルシンキ大学(2)
- フランス共和国
French Republic
ストラスブール大学(5)
グルノーブル大学連合(5)
パリ政治学院(2)
エコール・ノルマル・シュペリール(1)
- ベルギー王国
Kingdom of Belgium
ルーバン・カトリック大学(2)

アジア

- シンガポール共和国 Republic of Singapore
シンガポール国立大学(2)
- タイ王国 Kingdom of Thailand
カセサート大学(2)
タマサート大学(2)
チュロンコン大学(2)
- 大韓民国 Republic of Korea
慶北大学校(3)
ソウル大学校(3)
延世大学校(2)
高麗大学校(2)
浦項工科大学(2)
- 台湾 Taiwan
国立台湾大学(4)
国立清華大学(2)
- 中華人民共和国 People's Republic of China
武漢大学(2)
北京大学(5)
清華大学(2)
復旦大学(2)
浙江大学(2)
上海交通大学(2)
西安交通大学(2)
中国科学技術大学(2)
香港科技大学(2)
南京大学(2)
香港中文大学(2)
香港大学(2)
- ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam
ベトナム国家大学ハノイ校(5)

北米

- アメリカ合衆国 United States of America
ジョージワシントン大学(2)
ハワイ大学(2)
ペンシルベニア大学(2)
ワシントン大学(2)
ウィスコンシン大学マディソン(2)
- カナダ Canada
トロント大学(3)
ケベック州大学学長校長協議会(5)
ウォータールー大学(6)

太平洋

- オーストラリア連邦 Commonwealth of Australia
メルボルン大学(3)
ニューサウスウェールズ大学(2)
シドニー大学(2)
オーストラリア国立大学(2)
クイーンズランド大学(2)
- ニュージーランド New Zealand
オークランド大学(2)

中南米

- メキシコ合衆国 United Mexican States
グアダハラ大学(2)

中東

- イスラエル国 State of Israel
テルアビブ大学(2)
- トルコ共和国 Republic of Turkey
コッチ大学(2)

「きずな」にて(留学関係資料提供、国際交流等)

留学生ラウンジ「きずな」では、海外留学のための情報資料を常備して提供しつつ、定期的に様々な交流イベントを開催して、日本人学生と外国人留学生の交流の機会を設けています。

これにより、双方の国の文化や生活様式などの紹介、友人作り、語学力の研鑽など、学生自身が主体的に利用できる場となっています。



留学生ラウンジ「きずな」外観

危機管理体制等

本学における国際交流の進展による海外留学や研究渡航、国際シンポジウム参加などの機会が増加することに伴い、本学国際交流推進機構が全学的に部局と連携しながら、その国の安全情報入手に努め、治安情勢を勘案した指針等により対応しています。

学生の海外渡航が増加する夏季休業期間前には、海外渡航安全説明会を開催しています。

その他、「国際交流安全ガイド(渡航編)」を発刊して、渡航前の準備段階から海外滞在中、帰国までの間に想定されるトラブルへの心構えや対処法等を提供するなど、未然に事故や病気、不測のトラブル等を回避できるように努めています。



KCJS、SJC

KCJS / SJC 講義の聴講

KCJS / SJC 講義の聴講制度は、米国の一流大学が提供している英語講義を、文系理系問わず京都大学の学生が聴講できる制度です。毎学期、募集・選考が行われ、各クラスに2名程度の京大生が聴講生として講義に参加します。京大聴講生にも米国の学生と同

じ課題が課せられ、英文レポートや英語での討論が求められます。京都大学に在籍しながら、米国のトップ大学へ留学したのと同様の環境を経験できる制度です。

KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies、京都アメリカ大学コンソーシアム)

KCJS は 1989 年に京都市内に設立されました。日本研究を志す米国の大学生が、毎年約 40 ~ 50 名来日しています。参加大学は、ボストン大学、ブラウン大学、コロンビア大学、コーネル大学、シカゴ大学、エモリー大学、ハーバード大学、ミシガン大学、ペンシルベニ

ア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学(セントルイス校)、イェール大学、バージニア大学です。KCJS プログラムの参加学生は2年以上の日本語学習経験があり、日本語や日本文化に深い関心を持っています。

SJC (Stanford Japan Center、スタンフォード日本センター)

SJC は米国スタンフォード大学の日本留学プログラムとして 1990 年に誕生しました。日本との関わりを持つ上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的としています。参加学生の専攻は工学、自然科学、経済学、政治学、国際関係学等多岐

にわたっていますが、技術系専攻の学生が多いのが特徴です。日本語教育にも力を入れており、来日前にはスタンフォード大学本校において日本語授業の履修が義務づけられている他、来日後は毎週 8 時間の日本語の授業が必修科目となっています。

国際交流支援

国際交流への取り組み

留学生支援

平成 25 年 5 月 1 日現在、本学では 94 の国・地域から、1700 名を超える留学生を受け入れています。健康で快適な留学生活を送れるように、来日後のオリエンテーションやガイダンスに始まり、各種奨学金等への申請・交付支援、宿舍紹介(国際交流サービスオフィス)、就職活動支援(キャリアサポートセンター)など、日々留学生を支援しています。

加えて、国際交流センター・留学生ラウンジ「きずな」では、留学生や外国人研究者の相談窓口の役割を果たすほか、日本語授業の提供、日本語教材や DVD 等の貸出、文化交流イベント等を行っています。

また、従来から受け入れていた学位取得を目指す留学生、学生交流協定に基づく交換留学制度による 6 ヶ月・1 年の留学生だけでなく、短期留学交流の促進を目的として平成 22 年度に新設された、「短期交流学生制度」により、3 ヶ月以内の短期留学生も受け入れています。これら諸策により、海外から優秀な留学生を積極的に受入れると同時に、日本人学生の国際化を図っています。



関係リンク

- 京都大学に在籍する留学生の方へ

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students2/>

- 国際交流センター

<http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>

- 国際交流サービスオフィス

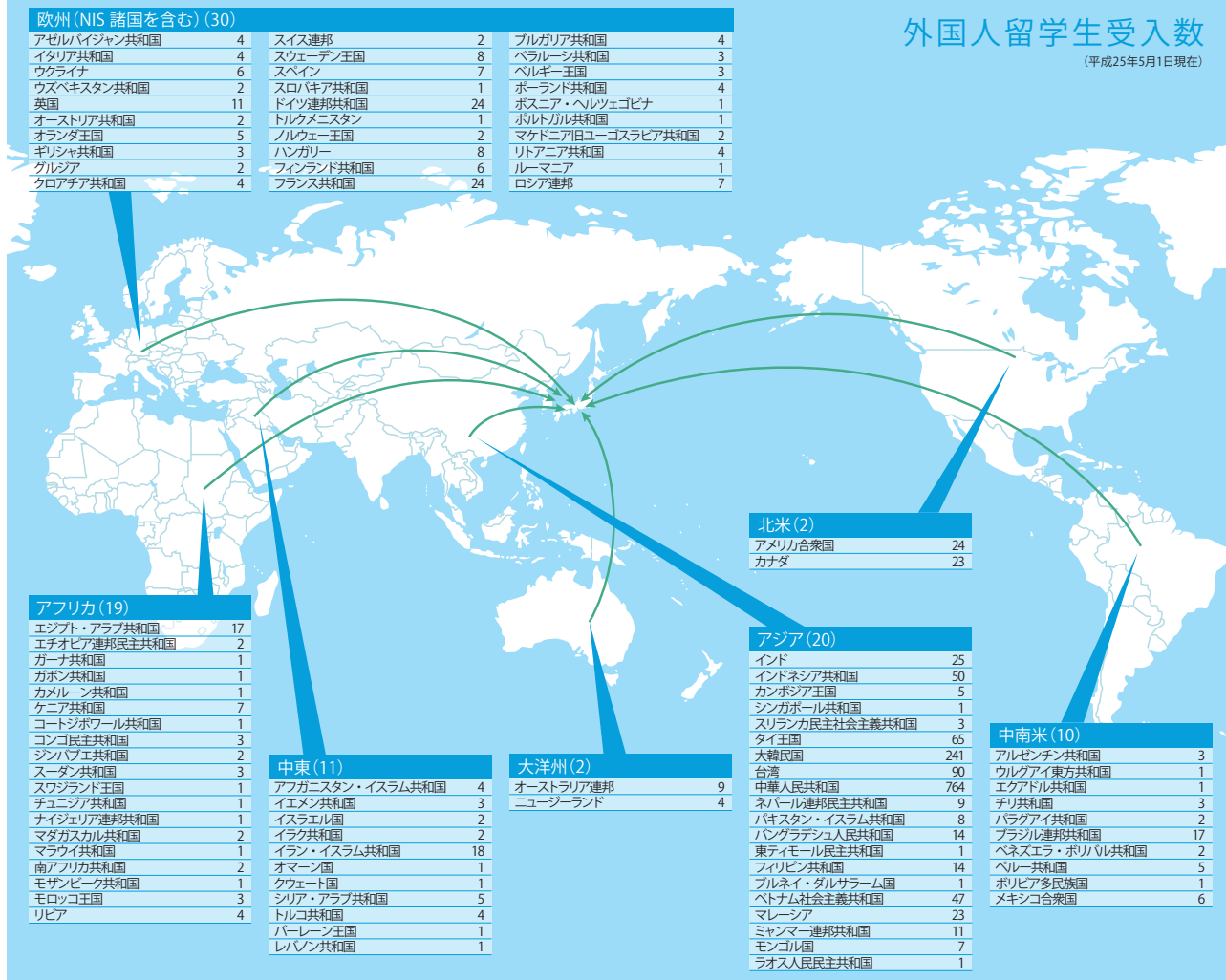
<http://www.opir.kyoto-u.ac.jp/kuiso/>

- キャリアサポートセンター

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/job/careerpath/>

外国人留学生受入数

(平成25年5月1日現在)



※(注) 総数1,733名中、留学ビザ留学生は1,692名

留学経験者の声 VOICE 01

人間・環境学研究科
文化人類学分野 修士課程 2年

藤井 隆宏さん

留学期間：2012年9月から2013年6月まで
留 学 先：浙江大学

私が交換留学を決めた理由は、中国の福建省の農村でフィールドワークを行うためです。私は人類学を専攻しており、「福建省土楼郡の観光開発と現代化」というテーマで研究を行っています。人類学は長期間のフィールドワークを行い、それによって得られた経験／データをもとに社会について考察を行う学問です。

そして、交換留学制度を用い現地の大学で学びつつ調査を行うことにしたのですが、実際これは素晴らしい選択でした。第一に現地語を体系的、実践的に学習することができます。言語はその土地の風土、文化と切り離せないもので、実際に身を置くことにより日本で学習するより早く身に付けることができます。第二に現地の研究者とアクセスが容易で、当該国における研究の状況を知ることができます。第三に調査に際しても現地の教授と相談したうえで行えば適切に物事を進めることができ、トラブルを招くリスクを避けることができます。実際、外国で調査を行うことは困難なことです。土地勘のない場所で適切な調査地を探すことは、異国のレストランで好みの料理を探し当てることくらい偶然的な作業です。大学には様々な研究者、学生がおり多くの人的リソースがあります。私は留学先の指導教官に調査地の研究者を何名か紹介してもらい、彼らの助けの元ス



ムーズに調査を行うことができました。

もうひとつの大きな成果としては中国の学問の状況を知ることができたことです。人文科学はその地域や歴史や政治性と切り離すことはできません。中国におけるその状況は日本人にとって見れば不可解なものです。しかし講義を聴き、学生と討論をするにつれてその特殊性を理解できるようになります。それと同時に日本の特殊性も客観的にわかってきます。相互の特殊性を肌で感じ、感覚的に理解することを留学無しにしえぬ事は困難だと思います。その後、私は初めて彼らと建設的な議論を行えるようになったと感じたのでした。

留学経験者の声 VOICE 02

農学研究科 修士課程森林科学専攻
森林利用学分野 2年

小若 茉莉さん

留学期間：2012年7月から2013年7月まで
留 学 先：メルボルン大学

私は今回の留学前から立てていた目標が2つあります。一つ目は、なるべく多くの人と関わりあい、視野を広げるということです。もう一つは、自分の意見を述べるのが苦手であったため自ら発信していくことができる人になるということでした。

オーストラリアの大学院は日本の大学院とは異なり、一度社会に出てからスキルアップのために大学院に行くという人が多く、私はクラスの中でも一番年下でした。さらに、イギリス、チリ、中国、アメリカ等世界中から勉強をするために来ているためそういった方々と意見を交わすことが出来たのはとてもよい経験になりました。世界の環境問題に関する彼らの意見を聞いたことは私の今後の研究だけでなく、考え方自体に大きな影響を与えてくれました。留学に際して、英語力に不安をお持ちの方は多いと思いますが、私もその内の1人です。(実際にIELTSで合格点をやっと獲得できたのは願書締め切りのギリギリ前で何度も受験しました。)しかし、留学中に気づいたのですが、自信を持って話せばあまり英語がうまく話せなくても皆さん熱心に聞いてくれます。オーストラリアは留学生が多いので英語がうまくない人はたくさんいます。最も大切なのは、伝えようという意思だけです。

私は、授業だけではなく積極的に大学内外の活動やコミュニティに参加しました。大学内では頻繁にパーティなどが開催されるので積極的に参加しました。大学、大学院の夏休みは大変長いです。アルバイトや旅行、ボランティアをして家に引きこもるのではなく積極



筆者左から2番目(後方)

的に色々挑戦してください。友達を作るコツを一つ紹介すると、向こうでの生活に慣れたら、シェアルームをしてみてください。私は6人の様々な国の人たちと共同生活をし、毎日一緒にご飯を食べたり、話をしたりしました。

ここには書ききれないほどたくさんの思い出ができて1年間という短い期間でしたが、本当に良い経験が出来たと思い、そのような留学をさせていただいたことは非常に感謝いたしております。大学の友人とは帰国後も連絡を取り合っていて、今度留学生の友人の国に遊びに行きます。現在留学をしてみようか悩んでいる方がいたら、絶対に挑戦してみてくださいということです。私も行く前は本当に不安でした。しかし、私の人生に最も影響を与えてくれた1年間でした。そのような経験をもっと多くの方に経験していただきたいと思います。

就職支援

学生の希望に沿ったキャリアデザインを支援

大学と社会との関わりが深化・多様化する中で、高度な専門性を有する人材が、大学等の研究機関以外の多様な方向へ進み、その能力を活用することが期待されています。

学生総合支援センターキャリアサポートルームの活動について

キャリアサポートルームでは、全学生の就職活動の支援をしています。キャリアサポートルームは吉田キャンパス、桂キャンパス、宇治キャンパスにそれぞれ設置されており、各種の就職関連資料、OB・OG名簿、国家公務員試験過去問題、インターンシップ情報、就職関連書籍などを豊富にそろえています。また、専門の相談員を配置して、就職相談に対応しているほか、就職ガイダンス、就職セミナー、合同企業説明会などの行事を主催・運営しています。

- キャリアサポートルームのホームページ
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/job/>
- 求人票の検索システム
<http://career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

[場所・利用時間(平日のみ)]

吉田キャンパス 旧石油化学教室本館 1 階(平日の月～金)
午前 9 時～午後 5 時
桂サテライト 船井交流センター 3 階(平日の月～金)
午前 11 時～午後 1 時、午後 1 時 45 分～午後 5 時
宇治サテライト 生協食堂 2 階(平日の月・水・木のみ開室)
午前 11 時～午後 1 時、午後 1 時 45 分～午後 5 時

※ ただし、ガイダンス実施等のため臨時に休室することがあります。

キャリアサポートルームの主催行事と参加者数

平成 24 年度実施イベント	人数
就職ガイダンス(全 6 回)	1,407
業界研究セミナー(全 13 回)	917
キャリアデザイン講座(全 5 回)	393
合同企業説明会(全 9 回 12 日間)	3,514
公務員関係ガイダンス等(全 20 回)	883
就職セミナー(全 55 回)	1,801
ホームカミングデイ OB・OG 交流会	91
インターンシップガイダンス	158
内定者による相談会(全 12 回)	57
SPI(2 回)・診断テスト(2 回)	400
弁論士試験等対策講座(無料公開講座)等	35
就職相談(計 191 日)	1,180
博士・ポスドク対象セミナー(全 4 回)	230
計	11,066

大学院生に対するキャリア支援について

京都大学では修士修了で就職をする方が学部卒で就職をする方の約 2 倍になります。特に近年は、専門性の高い大学院教育を受けた方への注目が強くなってきていますが、同時に社会性やコミュニケーション能力も必要とされているため、広い視野と豊かな人間力を身につけることが求められています。

このためキャリアサポートルームでは、大学院生を対象に、就職活動支援のみならず、より豊かな人間力を養成するためにさまざまなセミナーを開催しています。平成 25 年度は、「大学院生のための就職ガイダンス」などのプログラムを実施し、大学院生ならではの強みを認識し、将来にわたって人生の設計が図れるようにサポートをしています。

博士・ポスドクの就職活動支援について

京都大学では、研究者を目指して博士課程に進学する方が多数います。博士課程で高度な専門性を身に付けた研究人材は、大学や研究機関だけでなく、社会の様々な場面で求められています。京都大学キャリアサポートルームでは博士課程の学生やポスドクを対象に各種セミナーや合同企業説明会、個別カウンセリングを実施し、若手研究人材のキャリアパスの多様化を支援しています。

- 京都大学若手研究者キャリアパス多様化促進事業(KUCP)
<https://kucp.gakusei.kyoto-u.ac.jp/kucp/about>

大学院生のための教育実践講座「大学でどう教えるか」

将来、大学教育に携わることを希望している本学の大学院生(PD、研修員などを含む)を対象とした「大学院生のための教育実践講座—大学でどう教えるか—」は、ファカルティ(大学教員)へと自己形成していくきっかけとなる場を提供するもので、Basic(初参加者向)とAdvanced(本講座または大学授業の経験者向)の2つの講座を設けています。毎回、受講生からは「大学教育を考える視点が広がった」「院生同士のネットワークができた」と好評を得ており、実践講座の各プログラムの全てに参加した院生には、総長の修了証が授与され、就職に向けての1ステップになります。



先輩の声

01

人間・環境学研究科 共生人間学専攻
認知・行動科学講座 身体機能論分野

木下 量平さん

旭化成ファーマ株式会社 医薬営業本部
医薬北関東支店 宇都宮営業所（MR 職）



私は2010年3月に大学院修士課程を修了し、同年4月より旭化成ファーマ株式会社のMR（医薬情報担当者）として、主に病院勤務の医師、看護師、薬剤師への自社製品に関する情報提供を行っております。

現在の仕事では、医薬品に関する研究論文抄読や学会への参加を通じて情報を収集する能力、医療従事者に対し自社製品の安全性情報や使用方法を明確に伝えるプレゼンテーション技術が必要となります。大学院では、研究テーマに関する情報収集、研究室の先生方・先輩方からのプレゼンテーション指導など、現在の仕事に役立つスキルを養う機会が多くあったことを実感しております。それに加え、何よりも京大大学院で培ったものは、研究計画の立案、実施、振り返り、修正といったPDCAサイクルを自ら回していく主体性や積極性だと思います。

大学院修了後、どのような道に進んだとしても、大学院で得た力はその後の社会人生活で生きてくるものと確信しております。ぜひ、京大大学院をステップとして、大きく社会に羽ばたいて頂ければと思います。

先輩の声

02

教育学研究科 教育科学専攻
教育方法学講座 教育方法分野

小山 英恵さん

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授



私は2013年3月に教育学研究科博士課程を修了し、同年4月から鳴門教育大学に勤務しています。私にとって京都大学大学院での学術生活における最大の魅力は、先生方の圧倒的な知見から多くを学ばせていただきながらも、そこでは、研究対象に対しては先生も大学院生も対等に向かっている、あるいは向かうべきであるという姿勢が貫かれていたことにありました。このような姿勢を学ばせていただいたからこそ、現在の研究職においても私自身の問題意識をもって研究テーマを追及することができるのだと感じています。

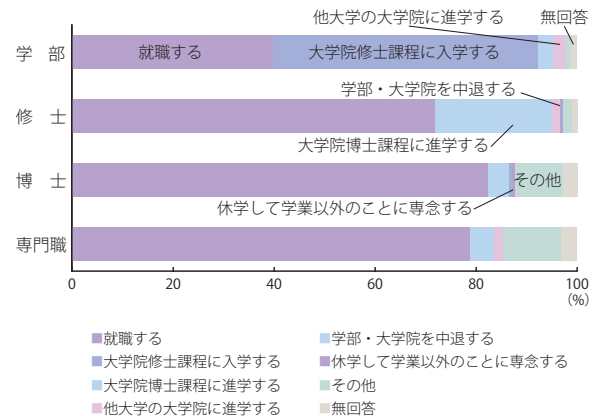
また、私が所属していた教育方法研究室では、教育方法学の理論を学ぶだけでなく、学校現場へと出かけて行き現場の先生たちとの共同研究を進めていました。大学院においてこのような実践的な学びをも得られたことは、教師を志望する学生たちの教育に携わる現在の大学教員としての職務に直接的に活かしています。

京都大学大学院は、真正で豊かな学びの機会を与えてくれます。みなさんもうかが大学院で自分の道を拓き、学問の探究を続けて下さい。

京都大学学生生活白書

（平成23年度より）

□京大生の進路希望



先輩の声

03

医学研究科 社会健康医学系専攻
医療経済学分野

田中 将之さん

日本医療経営機構 主任研究員
京都大学医学部 受託研究員（医療経済学）



私は医療の政策・経営に纏わる問題解決に関わりたく、医療の質と経済性の評価に関する研究を志し、専門職学位課程ならびに博士後期課程に入学しました。この5年間を通じて、医療・健康を多角的かつ統合的に学ぶ機会（研究・教育）を得ることができました。その中で、医療・健康の向上には、課題解決に向けて、得られたあらゆる情報を統合し、新たな領域や成果を創造していくこと、医療・健康に関係するプレイヤー（患者・市民、行政、医療機関、医療者、研究者等）が主体的に関わる環境（ネットワークやコミュニティ）を整備していくことが重要であることを教育・研究を通じて実感しました。現在、医療機関の経営陣をはじめとする医療人への経営・マネジメント領域の人材育成に携わっております。当該プログラムでは、受講者の方々が抱える課題解決に向けて、“より多くの選択肢を蓄積し、創造の幅をさらに拡張できるような教育プログラムのあり方”と“受講者の方々による全国レベルのネットワークの形成”の更なる展開を目指しており、大学院で経験させて頂いたことが、教育プログラムの運営や研究活動につながっていると実感しております。